

送辞

厳しい冬の寒さが和らぎ、登校坂の桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じられる、この佳き日に、佐賀県立唐津西高等学校を卒業される3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

これから新たな道へ歩いていこうとされている先輩方の姿は、いつにも増してかっこよく、輝いているように思います。どんな困難にでも立ち向かい、学年全体で共に切磋琢磨し合う先輩方の姿は、私たちの目標です。

今年から春と秋に開催となった双松祭。5月に行われた体育祭では、総体まで残りわずかな中、先輩方はどちらにも全力で取り組んでいらっしゃいました。そんな先輩方は私たちにとって、本当に頼もしい存在でした。放課後遅くまで残って活動されていた姿や、良い行事にしようと一生懸命努力されていた姿に私たちは憧れを抱き、気づけば先輩方の背中を追いかけるようになっていました。3年ぶりに行われた9月の文化祭では、制限がありましたが、お化け屋敷やフォトスポット、射的など、各クラスの個性豊かな出し物がひとつの花を咲かせ、西高の新しい文化が生まれたと感じました。

先輩方は、部活動でも私たちにたくさんのことを教えてくださいました。私は弓道部に所属しています。入部した時は慣れないことに戸惑いつつも、先輩方が丁寧に指導して下さったおかげで的前に立って弓を引けるようになりました。弓道部の先輩方はとても仲が良く、練習の時は互いに教え合ったり、試合の時も仲間が弓を引くときは必ず応援したり、試合に出ていなくてもサポートに回ったりと、一致団結した最高の部活動のあり方を示してくださいました。このことは、弓道部だけに限らず、西高にある全ての部活動で、私たち後輩が経験させていただいたことだと思います。

「出会いがあれば別れもある」。先輩方がこの学校から旅立たれる日がくることをわかっていたはずなのに、まだ一緒に学校生活を送りたいと思ってしまうことが多々あります。いままでたくさん助けていただき、感謝してもしきれないほどお世話になりました。

先輩方は今日から自分の将来に向けて大事な一步を踏み出していかれます。先輩方が新しい道へと進んでいかれるなかで、思いがけない困難や険しい道、大きな壁が立ちはだかるかもしれません。そんなときは思い出してください。この唐津西高で過ごした3年間の思い出を。毎日の授業や様々な学校行事を通して学んだことを。そしていつでも応援している私たちがいることを。自分の歩いていく道を切り開き、夢の実現に向けて挑戦し続けてください。諦めずに、自分の思うままに真っすぐ突き進んでいってください。どうか先輩方にとってこれから進んでいく道がさらに輝ける場所でありますように。どうか先輩方にとって幸せで楽しい日々が毎日続きますように。

私たちは今まで先輩方から学んだ沢山のことを生かし、探究の心を持って新たなことに挑戦し続けながら、唐津西高校の伝統と歴史を受け継ぎ、さらなる発展を続けていくことをここにお約束します。これからの先輩方のご健康とご多幸、そして更なるご活躍をお祈りして、送辞といたします。

令和5年3月1日 在校生代表 志田瑞歩